

アレコホール舞台芸術公演2022〈クロス〉

CROSS

2022年2月23日(水・祝)

ライブ配信 17:00 (約90分)

[主催] 青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会、青森県立美術館
[助成] 一般財団法人地域創造

絵画は、ことばを誘い、ことばは音楽を率いる。
音楽は、透明な光の粒になって空中を舞い、やがて色彩を帯びる。
それらはまるでクモの巣のように細く儂く交錯しているが、風雪に耐え、しなやかに、確実に生き続ける。
これは、したたかな詩と音楽が紡ぐ物語。

〈演奏曲〉

ACT1

演奏/石上 真由子

J.S. バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ 第1番 ト短調 BWV1001 より第1楽章：Adagio
第3楽章：Siciliana

演奏/金子 鈴太郎

J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲 第2番 ニ短調 BWV1008 よりI. 前奏曲

G. ソッリマ：“Alone”

ACT2

演奏/石上 真由子・金子 鈴太郎

M. ラヴェル：ヴァイオリンとチェロのためのソナタ

第1楽章：Allegro
第2楽章：Très vif
第3楽章：Lent
第4楽章：Vif,avec entrain

ACT3

演奏/高 実希子

S. ラフマニノフ：ヴォカリーズ 作品 34-14 (コチシュ編)

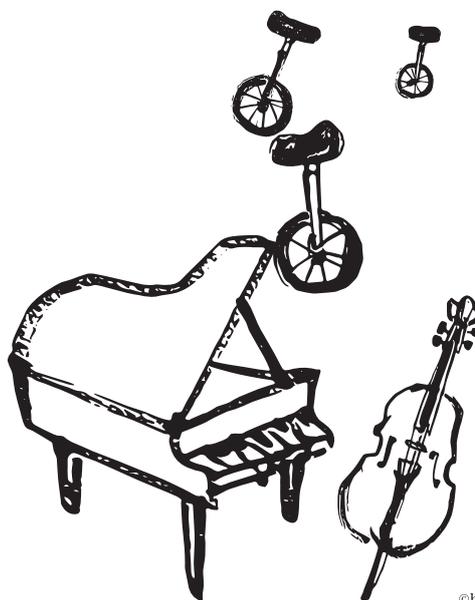
C. ドビュッシー：ベルガマスク組曲より 第3曲〈月の光〉

ACT4

演奏/高 実希子・石上 真由子・金子 鈴太郎

D. ショスタコーヴィチ：ピアノ三重奏曲 第2番 ホ短調 作品67

第1楽章：Andante
第2楽章：Allegro non troppo
第3楽章：Largo
第4楽章：Allegretto



©hata2

出演者

高 実希子(ピアノ)

石上 真由子(ヴァイオリン)

金子 鈴太郎(チェロ)

棟方 翔也(豊田児童センター一輪車クラブ)

熊沢 藍(豊田児童センター一輪車クラブ)

古山 七斗(豊田児童センター一輪車クラブ)

木村 英雄(県民オーディション選出俳優)

蛭名 みどり(県民オーディション選出俳優)

上林 有紀(県民オーディション選出俳優)

※ヴァイオリニストが田代裕貴氏から石上真由子氏に変更になりました。

STAFF

制作：中村 昭一郎

構成・美術：三浦 孝治

演出：清水 司

一輪車指導：木村 笑子

朗読詩構成：鹿内 由美子

照明：佐藤 牧人、神 照一

音響：本多 大公

映像：三浦 孝治

VJ：野村 真仁、駒井 滯

配信：成田 裕彦

撮影監督：齋藤 耕平

撮影：石川 雄英、石川 和也、松橋 徹

音声：工藤 敢司

舞台監督：寺山 紀幸

宣材写真：小田桐 啓太

イラスト：hata2

調律：小笠原 貞夫

〈朗読詩〉

李 箱「最後」、大手 拓次「小鳥の如き溜息」「あをい馬」「美の遊行者」、尾形 亀之助「二人の詩」「無題詩」「十二月の路」、小川 未明「月が出る」、北原 白秋「月明二章」「春朝」「小鳥」、今野 大力「猛炎」「色彩」、櫻間 中庸「月夜」「散髪屋の夜」[女は ライラックのほひを好むと]、島崎 藤村「知るや君」「小詩二編」、立原 道造「朝に」「夢のあと」「薄明」「民謡-エリザのために」、野口 雨情「春の鳥」「片恋」「熱い涙」「悲しき恋」、萩原 朔太郎「芽」「危険な散歩」、松本 竣介「天に続く道」、室生 犀星「罪業」、与謝野 晶子「冥府のくら戸は」

〈出演者〉



アレコホール舞台芸術公演2022〈クロス〉

CROSS



©hata2

高実希子 (ピアノ)

北海道函館市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学首席。パリ国立高等音楽院卒業。シヨパン国際ピアノコンクール in ASIA 大学生部門最高位他、国内外での受賞歴多数。ソリスト、室内楽奏者としてフランス・ベルギー・イタリア・ロシア等海外から招聘他、国内外の著名演奏家と共演を重ねる。令和2年度函館市文化団体協議会青麒麟章受章。

©Takafumi Ueno

石上真由子 (ヴァイオリン)

日本音楽コンクール等、内外で優勝・受賞多数。国内外でオーケストラとの共演も重ね、ソロ・室内楽・オーケストラ等、幅広く活躍。題名のない音楽会やNHKクラシック音楽館等、メディア出演も多数。Music Dialogue、CHANEL 室内楽、KCH、おんかつアーティスト。京都市芸術新人賞、音楽クリティク・クラブ賞、大阪文化祭賞、青山音楽賞受賞。日本コロムビアよりCD好評発売中。
www.mayukoishigami.com

金子 鈴太郎 (チェロ)

桐朋学園ソリスト・ディプロマコースを経て、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。国内外のコンクールで優勝、入賞。2003年～2008年大阪交響楽団特別首席チェロ奏者。現在は各オーケストラにゲスト首席として招聘されるほか、サイトウ・キネン・オーケストラ等で活躍中。トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ首席、長岡京室内アンサンブル、東京バロックプレーヤーズ各メンバー。

■ 豊田児童センター一輪車クラブ

1989年創設。2014年3月開催、全日本一輪車競技大会舞台演技部門「全日本ユニダンシングコンペティション〜『美』への誘い 一輪車は羽ばたく〜」優勝。2008年デンマークで行われた第14回国際一輪車大会では、団体優勝の他、年齢別ペアでも優勝するなど、世界大会で4度の団体優勝を果たし、常に全国大会、世界大会などで優秀な成績をおさめている。



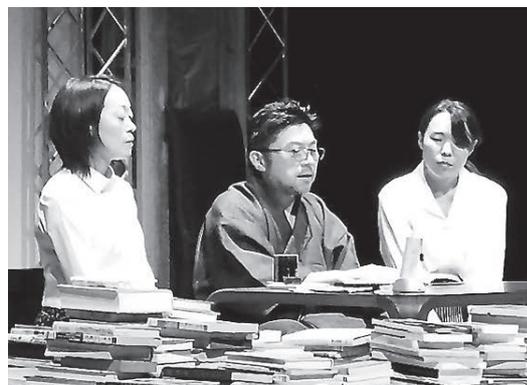
豊田児童センター一輪車クラブ (棟方 翔也・熊沢 藍・古山 七斗)



青森県立美術館舞台芸術企画アレコ 2018 「Zemphira」より

■ 「CROSS」公演に向けて2020年から2021年の活動記録

- ・演劇ワークショップ+「音楽劇アレコ」(仮)出演者オーディション
2020.10.18/24/25/31 (むつ市、青森市、八戸市)
- ・音楽劇「4枚の絵」(仮)プレコンサート
2021.1.30/31 (青森県立美術館アレコホール)
- ・県民オーディション選出俳優によるアトリエ公演 (ドラマリーディング)
2021.3.13 (青森県立美術館シアター)
- ・県民オーディション選出俳優によるアトリエ公演 (演劇)
2021.7.10 (青森県立美術館シアター)



県民オーディション選出俳優 (蛭名 みどり・木村 英雄・上林 有紀)

〈本公演出演〉

清水 司 (劇団 SOUTHERN COMFORT 代表/作・演出・俳優)

1974年青森県弘前市生。現在南津軽郡藤崎町在住。1999年劇団 SOUTHERN COMFORT を旗上し、脚本・演出・役者担当。以降、繊細な心理描写に重点を置いたシリアスな芝居と、笑いに重点を置いたコト的な芝居の2種類の公演スタイルで、年2〜3回程度の新作公演を定期的に行っている。青森県主催の2012年「3 世代で楽しく学ぶ 安全安心教室」、2016年「いきいきシニアに贈る暮らしの安全安心出前講座」では構成・脚本等を担当する。2013年映画「奇跡のリンゴ」(監督・中村義洋)に出演。2014年「劇王天下統一大会・東北代表決定戦」で、『戯れ』(作・清水司)が優勝。翌年「劇王 天下統一大会 2015 ベイシティ・ロワイヤル! in KAAT」(神奈川県横浜市)に出場。